

| | | |
|--|--------------|-----|
| 科目名称： | 保育内容「表現B」の展開 | |
| 担当者名： | 水上 和子 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 講義 | 2 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| 1、音楽によって、内的能力の向上や喜びを感じられることを目指す。 2、学生が子どもと保育者の両方の立場を経験する事で、双方の立場を理解し実践に役立てる。 3、子どもと共に楽しめる表現を目指し、より実践的、応用的な表現力を身に付ける。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 1、子どもの心身の成長・発達に関する知識を深め実践的な計画ができるようになること。 2、他者と関わり、協同的な活動ができるようになること。 | | |

| 幼児教育学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|--------|---|------|
| DP(1) | 建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。 | |
| DP(2) | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP(4) | 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。 | ○ |

| 評価方法／ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 幼児教育DP(1) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(2) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(3) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(4) | | | | 100 | 100 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|--------------|--------------------------|------------|
| あり | 《内容1》 附属西南幼稚園園長代理 | 《経験年数1》 3年 |
| | 《内容2》 附属西南幼稚園園長 | 《経験年数2》 1年 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|----------|---------------------|-------------------|--------------------|---------------------------|
| 受講態度 | 意欲的・自発的でありとても熱心である。 | 指導をうけた事を吸収しようとする。 | アドバイスをすると前向きにとらえる。 | 欠席をしないようにし、受講態度の改善を必要とする。 |
| 表現意欲 | 現場で、即実践できる工夫がみられる。 | アピールしようとしている。 | やや積極的である。 | 積極的になるように努力を要する。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|---|---------------------------------|-------------|
| 第1回 授業内容。計画についての説明、表現遊び | シラバスのを熟読しておく | 40分 |
| 第2回 歌う活動を中心とした表現活動 | メロディでハーモニーが形成される曲を準備しておく | 30分 |
| 第3回 歌う活動を取り入れた指導体験 | 歌唱において興味や関心を持つための工夫を考える | 30分 |
| 第4回 歌う活動を取り入れた指導体験のフィードバックとディスカッション | 歌唱において興味や関心を持つための工夫を考え、まとめておく | 30分 |
| 第5回 動く活動を取り入れた指導体験 | マーチ、ラン、スキップのリズム曲を練習しておく | 30分 |
| 第6回 動く活動を取り入れた指導体験のフィードバックとディスカッション | マーチ、ラン、スキップのリズム曲を練習し、弾けるようにしておく | 30分 |
| 第7回 歌遊びを取り入れた指導体験 | 歌遊びの曲の選定と練習をしておく | 30分 |
| 第8回 歌遊びを取り入れた指導体験のフィードバックとディスカッション | 歌遊びの曲の選定と練習をしておく | 30分 |
| 第9回 わらべ歌遊びの指導体験 | わらべ歌を選定し練習をしておく | 30分 |
| 第10回 わらべ歌遊びの指導体験のフィードバックとディスカッション | わらべ歌を選定し練習をしておく | 30分 |
| 第11回 総合表現に向けての練習① | 歌唱、振り付けの練習をしておく | 30分 |
| 第12回 総合表現に向けての練習② | 歌唱、振り付けの練習をし、発表に向けて完成に近づけておく | 40分 |
| 第13回 総合表現に向けての練習③ | 各自の役割を確認し、役割を分担しておく | 40分 |
| 第14回 発表練習 | 発表の確認をしておく | 40分 |
| 第15回 発表の振り返りと反省 | 各自振り返りと反省をしておく | 40分 |
| <p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準 | | |
| <p>定期試験は、100%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 定期試験は実施しない。その他の評価配分は以下の通りである。 指導体験の準備 60パーセント 準備学習(弾き歌いやリズム曲のピアノ練習) 20% 授業に取り組む姿勢 20%</p> | | |
| 課題に対するフィードバック | | |
| 授業内プリントは、ルーブリックで自己評価をした後提出し、学習成果をコメントシートでフィードバックする。 | | |
| 教科書・参考書 | | |
| 実践しながら学ぶ「子どもの音楽表現」 器楽Ⅲのプリント その他プリントを配布する | | |